

11501造船業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	17 ～ 18	当該事業所で御飯の釜を戻して次の作業に入るため歩いていたところ、床でつまずき転倒した。転倒した際に左膝から床についてしまったために左膝を骨折した。災害発生当時の床は濡れておらず、すり足で少し急いでいたため転倒した。	41	1	418	10～ 29人
2	2018	1	13 ～ 14	派遣先にて勤務中、除雪作業をするために現場に急いで向かって途中に、車のトランクの扉が開いているのに気付かず、扉にぶつかり頭に3針縫う傷を負っていた。	66	6	146	10～ 29人
3	2018	1	11 ～ 12	倉庫内で、7t積トラックの荷下ろし作業にかかり、荷ほどきのため荷台に上がったとき、足元が滑り、背面から落下して、コンクリート床に腰と頭を打った。この場にもう一人作業員がいたが、被災状況は現認できておらず、被災者本人の記憶による。	46	7	521	1～9 人
4	2018	1	16 ～ 17	道路の舗装をバックホウで掘削していたときに、バックホウを後退させるときに後ろのコーンを踏みそうになったので、交通誘導員が、コーンを移動させようとして、バックホウの後ろに入ってきて足を轢いてしまった。	30	1	371	—
5	2018	1	8 ～ 9	船底の洗浄中、高圧洗浄ホースが何かの原因で破裂してホースが暴れてノズル部分が顔に当たり受傷した。	22	6	391	1～9 人
6	2018	1	8 ～ 9	屋根の作業終了後、下に下り現場の土地から離れ、たばこを吸うなどして現場に戻り、瓦を小さく割っていた。事業主と雑談を少しして、上着を取りに屋根に上がり、降りてくると途中、滑って	58	1	221	1～9 人

				落下した。落ちた場所がコンクリートの地面だった。				
7	2018	2	11 ～ 12	船首壁面付昇降ばしごの最上部で作業中、向きを変えようとしたところ、踊り場開口部に足を踏み入れ、下段踊り場（踊り場間高さ4.94m）まで落下し、負傷した。	43	1	416	10～ 29人
8	2018	2	9 ～ 10	垂直ばしごを降りていたところ、右足が滑り墜落した際に、腰を打ち負傷した。	21	1	371	1～9 人
9	2018	3	15 ～ 16	デッキから螺旋階段を下りて、艙内タンクトップへ通じるはしごで降下しようとしていた。螺旋階段からはしごに行くには、螺旋階段の終点にある踊り場の手すり兼はしごへのガイドとなるハンドレールを握り、下りる構造となっていた。被災者はハンドレールがタンクトップまで続いていると思い込み、はしごの踏み面を掴まずにハンドレールに手を添えて降りていた。しかし、降下し始めて足の位置が4mのところ掴むべきハンドレールがなくなっていたため、バランスを崩し落下した。	38	1	413	50～ 99人
10	2018	3	13 ～ 14	造船所にてエンジン据え付けのため、作業中船から降りようとした際、足場がくずれ高さ2m位の所から落下し、下半身を強く打った。	44	1	411	1～9 人
11	2018	3	10 ～ 11	工場内で新品船建造作業中に足場高さ50cm位の所から落下し、その際に手をつき左手首を骨折した。	70	1	411	1～9 人
12	2018	3	10 ～ 11	船でのN2張込の準備作業中、1人でパイプパレットから接続金物に使用するフランジ付パイプを取り出すために、人力で動かしていたときにフランジ付パイプを支えきれず傾き、フランジ付パイプとパレット内にあった他のパイプの間で、左示指を挟まれ受傷した。	39	7	521	500 ～ 999 人
13	2018	3	11 ～	船内にて、階段の船塗作業後の、スパッタの破片が左目まぶたあ	22	4	364	1～9

			12	たりに入って、目をこすった際に眼球に入り損傷した。					人
14	2018	3	16 ～ 17	工場内のブラスト作業場内で、ブラスト作業後のブロックの状態 を検査するため、立ち入り検査中に何らかの原因で左眼に異物が 混入した。	41	4	521		1000 人 以 上
15	2018	3	15 ～ 16	建造中船舶内にて、名板の取り付け作業中、取り付け場所へ移動 していたところ、床にあった電気工具の延長コードに足を引っ掛 けてしまい転倒、右大腿骨骨折と判明した。	77	2	417		1～9 人
16	2018	4	11 ～ 12	チップ製造整備2ヤード製品倉庫にて重機によるエアー配管接触防 止対策のために、標識用塩ビパイプ吊り下げワイヤーを取り付け る作業の段取りをローリングタワーにて行うため、同ワイヤーに ロープを取り付け、スタンション近くまで引き付けようとしてい た。当初は軽い張力だったが、ワイヤーが急に重くなり2名で引っ 張りこんだが、2名のタイミングが張力増加によりずれ、2名とも ロープに引き付けられ足場の端により、ロープと一緒にローリン グタワーと2名とも転倒落下して被災した。	23	1	411		10～ 29人
17	2018	4	11 ～ 12	チップ製造整備2ヤード製品倉庫にて重機によるエアー配管接触防 止対策のために、標識用塩ビパイプ吊り下げワイヤーを取り付け る作業の段取りをローリングタワーにて行うため、同ワイヤーに ロープを取り付け、スタンション近くまで引き付けようとしてい た。当初は軽い張力だったが、ワイヤーが急に重くなり2名で引っ 張りこんだが、2名のタイミングが張力増加によりずれ、2名とも ロープに引き付けられ足場の端により、ロープと一緒にローリン グタワーと2名とも転倒落下して被災した。	40	1	411		10～ 29人
18	2018	4	14 ～	船防熱工事で、タンク防熱ウレタン（重量23kg）を巻き上げワゴ ンを使用して荷下ろし作業を行っていた。パネルを取り出す際、 本設手摺りを取り外してパネルの取り出しを行った。本設手摺り 復旧の際、被災者は左側、共同作業者は右側に配置し、上部の	54	7	521		10～

26	2018	5	16 ～ 17	ランプドア裏のクラック修理の際、養生やハツリ作業を足場上で中腰姿勢のまま行っていて、長時間無理な姿勢で作業していたため、腰に激痛が走り動けなくなった。	31	19	911	1～9 人
27	2018	5	13 ～ 14	造船の造船作業現場で、工事用の丸太足場を登っているとき、5mほど登った地点で足を滑らせ、固定されていない足場を掴みバランスを崩して落下した。	31	1	411	10～ 29人
28	2018	5	15 ～ 16	部材の出荷準備のため反転作業に取りかかり、クランプが反転状態で外せないため長い受けパイプを敷きクランプを裏返し、その長いパイプを外すためホイストを持ち上げ取り出した。短いパイプが奥にあったので手前に置こうと手を入れたときにクランプのロックをしていなかったのでクランプが外れ、パイプと部材に挟まれ受傷した。	59	4	211	30～ 49人
29	2018	5	11 ～ 12	自社倉庫に行き倉庫整備を行い、刈払い機にて除草作業中、眼鏡をしていたが汗で視界が悪くなったため、眼鏡をずらしたとき石と金属片が左目に当たり負傷した。	45	4	169	10～ 29人
30	2018	5	16 ～ 17	新造船で作業仕上がり確認のため移動中、ハッチの縁に右手を掛けたとき急に蓋が落下し、右手を負傷した。	77	7	418	50～ 99人
31	2018	5	16 ～ 17	造船所で、主機関の部品をロープにて吊って取り出している最中、ロープが外れ部品が落ちそうになったため手で掴もうとしたが、部品が大きく体勢が悪く支えることができず部品と主機関の台の間に指を挟み受傷した。	53	4	521	1～9 人
32	2018	6	16 ～ 17	造船ドック内で、脚立を使用して配管作業をしていたとき、移動して安全帯のロープを別の所に掛けようとしたところ、誤って足を滑らせて3m下の鉄板上に落下し、左半身（肋骨・肩・腰）を骨折した。	69	1	371	1～9 人
33	2018	6	16 ～	船体ブロックに取り付けた水蜜扉の溶接作業が終了し、腰を下ろした際に足を滑らせて転倒し、尻もちをついたときに鋼材で股を	27	2	521	10～

			17	強打した。				29人
34	2018	6	15 ～ 16	建造中の船の甲板上で、貨物タンク内にはしごを取り付ける作業中、門型クレーンではしごを吊り、貨物タンク内に入れる際にはしごがオイルタイトハッチ開口部に接触し、玉掛けしたフックが外れ、周囲で配管取り付け作業を行っていた被災者に倒れた。	22	5	371	1～9人
35	2018	6	11 ～ 12	主機船尾側エンジンピット内で、中間軸の位置決め用ダイヤルゲージの取り付け計測を行っていた際、エンジンピットから上部フロアに上がる際にストレーナー（濾し器）上部に右足を掛けたとき、足が滑って股間を打った。	32	1	391	1000人以上
36	2018	6	13 ～ 14	先行艀装ヤードで、ボイラー排気管防熱板金作業中、油圧ジャッキで中心を上げて盤木を付け替えようとし、盤木を移動させたときにジャッキが外れ、左腕が盤木と部材に挟まれて倒れた。	57	7	361	10～29人
37	2018	6	11 ～ 12	資材置場で道具の整備中、作業場を確保するため架台上の鋼材（L字アングル）をずらそうと引っ張ったところ、勢い余って架台から落としてしまい、鋼材と地面の間に右足首を挟んだ。	45	4	521	50～99人
38	2018	6	11 ～ 12	工場では約30kgの鉄製蓋を手で持って移動中、一旦床に置いたときに雨で滑り、蓋が左手に当たった。	65	4	911	30～49人
39	2018	6	9 ～ 10	プレス機で外板の曲げ作業中、プレス機から外板を引っ張り出すため、外板の進行方向に立ってクレーンを巻き上げる際、吊り荷の重心確認をしなかったため、斜めに上がった外板が被災者の方へ振れた。被災者は外板を一旦下ろそうとしたが、誤って自身の安全靴のつま先部分に下ろしてしまい、後ろに倒れ込んでコンクリート床に左臀部を強打した。	62	2	416	1～9人
40	2018	7	11 ～ 12	発射管の補機台を取り外しているときにガスで切断後、外れないので再度、切断箇所に火を入れ軽くゆすったところ外れ、手で支えられずに外した補機台と下の発射管の間に指を挟まれた。	38	7	331	50～99人

41	2018	7	17 ～ 18	防潮堤に立て掛けたアルミ製のはしごから下りている途中で、はしごの段が破損したため落下し、下にある鋼材で右腰を強打し、裂傷及び骨折した。	65	1	371	1～9 人
42	2018	7	17 ～ 18	タンカー船のプロペラを清掃するため、潜水にてスクレッパーを使用し貝殻等の付着物を除去後、両耳に耳閉感と耳鳴りの症状が出た。	24	12	714	1～9 人
43	2018	7	11 ～ 12	ガーダとフレームを引き寄せるため、門馬をつけてレバーブロックで引っ張ったところ、門馬がもげて右膝に当たった。	42	6	379	10～ 29人
44	2018	7	8 ～ 9	玉掛け作業中、移動台車上の盤木へ小組材を乗せる際に、部材端部を掴み巻下げの合図を行ったところ、手で掴んでいた部材裏面に矢盤木があり鋼板と盤木に指が挟まれ受傷した。	61	7	211	500 ～ 999 人
45	2018	7	15 ～ 16	造船所構内で作業中、他の作業員に作業方法を説明するため、急いで移動していたところ、足を滑らせて転倒し、定盤に左耳後部をぶつけて裂傷を負った。	66	2	417	10～ 29人
46	2018	8	14 ～ 15	機械作業所にて旋盤で加工するためにチャックを取り替え中、誤って旋盤のスイッチが入り回転が始まったためにチャックが脱落し、そのボルトが左手に当たり被災した。	33	4	151	10～ 29人
47	2018	8	15 ～ 16	足場解体作業を開始し、外板の一段目足場上にて解体したスタクションを下で受け取る際、受け損ねて、右腕に当たり受傷した。	22	4	411	1～9 人
48	2018	8	14 ～ 15	塗装作業が終了して、F.W.T (P) 工事孔前にあるひな壇より塗料ホースをタンクトップにあるネタ場に降ろし始めた際、バランスを崩し、ひな壇から飛び降り、踵を受傷した。	35	1	418	30～ 49人
			8	コンテナ船のエンジンケーシング後部モノレールクレーン用補修用通路の取り付け作業中、通路に乗り、通路に積んであった垂直				1～9

57	2018	9	19 ～ 20	工場内で配管の溶接作業をするため、マンホール状になったブロックの開口にしゃがんでいた。その下の空間をスキッド台車が通る際、被災者に気付かず操作を進め、台車が近づいたときに被災者は警告ランプに気付いたが、逃げ切れず台車とブロックに足を挟まれた。	34	6	223	1～9 人
58	2018	9	8 ～ 9	船舶塗装で、飛散防止ネットを張るために囲っている丸太に紐を結びつける作業中、バランスを崩して地上に落下し、体を強打した。	62	1	418	1～9 人
59	2018	9	11 ～ 12	工場にて居住区ブロック組立作業中、高さ約2800mmの壁に長さ約1200mmの延長フックにレバーブロックを掛け、作業後レバーブロックを外すときに弾みで延長フックが落下し、足の小指を負傷した。	69	6	364	10～ 29人
60	2018	9	11 ～ 12	木工内作業場にて、丸鋸昇降盤でウレタンボードのカット作業を行っていたところ、左手親指爪の付け根を鋸で切断した。	62	8	131	1～9 人
61	2018	9	10 ～ 11	居住区画上甲板暴露デッキ上で、防熱資材を肩に担いで運搬中、右足を踏み出したときに滑って左膝をデッキに打ちつけ、左膝蓋骨骨折を負った。	63	2	416	1～9 人
62	2018	9	3 ～ 4	ブラスト工場内で作業中、昇降用に架設した枠組足場を使用してブロックから降りていたとき、上から3段目のところでステップ取付金具フックの溶接部が破断し、傾いた反動でバランスを崩して約1.4m下に転落し、左足首を負傷した。	36	1	413	100 ～ 299 人
63	2018	9	13 ～ 14	香焼現場草刈り作業中に傾斜を下っていた際、バランスを崩し右手を地面についたところ、右手首をひねり靭帯を痛めた。	46	2	417	10～ 29人
64	2018	9	19 ～	工場内で配管の溶接作業をするため、マンホール状になったブロックの開口にしゃがんでいた。その下の空間をスキッド台車が通る際、被災者に気付かず操作を進め、台車が近づいたときに被	34	6	223	1～9

			20	災者は警告ランプに気付いたが、逃げ切れず台車とブロックに足を挟まれた。					人
65	2018	9	8 9	船舶塗装で、飛散防止ネットを張るために困っている丸太に紐を結びつける作業中、バランスを崩して地上に落下し、体を強打した。	62	1	418		1～9 人
66	2018	9	11 12	工場にて居住区ブロック組立作業中、高さ約2800mmの壁に長さ約1200mmの延長フックにレバブロックを掛け、作業後レバブロックを外すときに弾みで延長フックが落下し、足の小指を負傷した。	69	6	364		10～ 29人
67	2018	9	11 12	木工内作業場にて、丸鋸昇降盤でウレタンボードのカット作業を行っていたところ、左手親指爪の付け根を鋸で切断した。	62	8	131		1～9 人
68	2018	9	10 11	居住区画上甲板暴露デッキ上で、防熱資材を肩に担いで運搬中、右足を踏み出したときに滑って左膝をデッキに打ちつけ、左膝蓋骨骨折を負った。	63	2	416		1～9 人
69	2018	9	11 12	建造中の船内で、発電機の取付台を設置していたとき、本作業が終わっていないことを報告しなかったため、現場で塗装作業が行われていた際、溶剤の臭気やガス濃度及び作業員への確認を怠った。換気等の対処を行うことなく溶接作業を始めたところ、充満していた有機ガスもしくはLPガスのどちらかに、溶接火花・ガスライターまたは煙草の火が引火し、燃焼による圧力変化で受傷した。	49	99	999		1～9 人
70	2018	9	13 14	香焼現場草刈り作業中に傾斜を下っていた際、バランスを崩し右手を地面についたところ、右手首をひねり靭帯を痛めた。	46	2	417		10～ 29人
			19	工場内で配管の溶接作業をするため、マンホール状になったブロックの開口にしゃがんでいた。その下の空間をスキッド台車が					1～9

71	2018	9	～ 20	通る際、被災者に気付かず操作を進め、台車が近づいたときに被災者は警告ランプに気付いたが、逃げ切れず台車とブロックに足を挟まれた。	34	6	223	人
72	2018	9	～ 9	8 船舶塗装で、飛散防止ネットを張るために困っている丸太に紐を結びつける作業中、バランスを崩して地上に落下し、体を強打した。	62	1	418	1～9 人
73	2018	9	～ 12	11 工場にて居住区ブロック組立作業中、高さ約2800mmの壁に長さ約1200mmの延長フックにレバーブロックを掛け、作業後レバーブロックを外すときに弾みで延長フックが落下し、足の小指を負傷した。	69	6	364	10～ 29人
74	2018	9	～ 12	11 木工内作業場にて、丸鋸昇降盤でウレタンボードのカット作業を行っていたところ、左手親指爪の付け根を鋸で切断した。	62	8	131	1～9 人
75	2018	9	～ 11	10 居住区画上甲板暴露デッキ上で、防熱資材を肩に担いで運搬中、右足を踏み出したときに滑って左膝をデッキに打ちつけ、左膝蓋骨骨折を負った。	63	2	416	1～9 人
76	2018	9	～ 12	11 建造中の船内で、発電機の取付台を設置していたとき、本作業が終わっていないことを報告しなかったため、現場で塗装作業が行われていた際、溶剤の臭気やガス濃度及び作業員への確認を怠った。換気等の対処を行うことなく溶接作業を始めたところ、充滿していた有機ガスもしくはLPガスのどちらかに、溶接火花・ガスライターまたは煙草の火が引火し、燃焼による圧力変化で受傷した。	49	99	999	1～9 人
77	2018	9	～ 14	13 香焼現場草刈り作業中に傾斜を下っていた際、バランスを崩し右手を地面についたところ、右手首をひねり靭帯を痛めた。	46	2	417	10～ 29人
			10	エンジンルーム内で、発電機を玉掛作業で接合する台の穴と合わせる作業中、穴合わせのため少し発電機を浮かせた状態でずらし				10～

78	2018	9	11	～	て下げる際、右拇指を発電機と台の間に入れていたため挟まれた。	36	7	211	29人
79	2018	10	14	～	工場では新造船の船体部分の曲げ加工中、完成したアルミ板を持って歩いていたら、誤ってアルミ板を落としてしまい、板の切断部分が左足甲に直撃した。	31	4	521	10～ 29人
80	2018	10	9	～	船舶内装工事中、エンジンルームの開口部に敷いてあったベニア板を踏み抜き、開口部から転落した。	51	1	414	30～ 49人
81	2018	10	19	～	造船作業中、溶接作業員4名でキャプタイヤを後ろ向きに引っ張っていたところ、被災者が開口部から落下して負傷した。	26	1	418	—
82	2018	10	24	～	NC定盤で切断材の仕分け作業中、被災者が単独でL型クレーンのリフティングマグネットを使用していた。吸着した切断材をパレットに入れるため、右手でテレコンを操作し、左手でリフティングマグネットの取っ手を持って位置を調整した。その際、磁力でリフティングマグネットがパレットに引き寄せられ、リフティングマグネットの取っ手とパレットの間に左手親指が挟まれた。	37	7	211	100 ～ 299 人
83	2018	10	5	～	天井クレーンで製品を吊り、着地させる際にチェーンを取り外すタイミングを誤り、製品とチェーンの間に左手中指を挟んだ。	44	7	372	1～9 人
84	2018	10	12	～	工場構内で検査用ボートを栈橋に係留する際、デッキ上で滑って左足首を捻挫した。	32	2	239	30～ 49人
85	2018	10	19	～	倉庫で工具類をコンテナに入れて運搬中、周囲が暗かったため段差につまずいて転倒し、左踝を骨折した。	48	2	417	1～9 人
					配管漏れの緊急対応時、配管分解中にネジが固かったため、体重				

86	2018	11	10 ～ 11	を掛けて緩めようとしたところ、工具が滑って転倒し、左腕を強打して海へ落ちた。事前準備と現場確認を怠ったため、事故が発生した。	54	19	921	10～ 29人
87	2018	11	16 ～ 17	工場内ブロック外部で、歪取りのため脚立に乗りマーキング作業を行っていた。脚立から下りる際、ブロックのシアストレーキに足を掛けようとしたところ、踏み外して約1.1mの高さから転落した。その際に左太腿と腰を強打し、左寛骨臼骨折を負った。	66	1	371	50～ 99人
88	2018	11	14 ～ 15	昼礼後、被災者が請負区画内の現場巡視を開始し、屋外の組み立てストックヤードへ移動する途中、後方から走行してきた7tフォークリフトと接触した。その際に被災者が骨盤を折り、出血性ショックのため死亡した。	66	6	222	30～ 49人
89	2018	12	18 ～ 19	被災者は、会社で負傷した同僚を救急車で搬送する際、付き添いとして同乗した。病院に向け緊急搬送中、救急車が前方の2tトラックに追突し、搬送先の病院で死亡が確認された。	64	17	239	10～ 29人
90	2018	12	11 ～ 12	修理のため上架していた船上から、タラップ（階段）を下りる際、中段から転落し、負傷した。さらに、救急車で病院に向け緊急搬送中、救急車が2tトラックに追突し、結果的に、肋骨や胸椎の骨折、外傷性血気胸などを負った。	64	1	413	10～ 29人
91	2018	12	9 ～ 10	部品受け入れ職場で、折り畳み踏み台の組み立て作業を行っていた。踏み台完成後の安全確認で上段に登った際、ロックが完全に掛かっていなかったため、転倒し、手をついたところ、両肘を骨折した。	64	1	371	100 ～ 299 人
92	2018	12	11 ～ 12	造船工場内C棟西定盤、船体ブロック昇降中、溶接ワイヤーをブロック内に運ぶため、溶接ワイヤーを担いで昇降階段を上っていた。ブロック墜防用のワイヤーが頭（ヘルメット）に当たり（足下に気を取られていた）、その反動でバランスを崩し、階段から地面に転落し、腰、背中を負傷した。	64	1	413	10～ 29人

93	2018	12	6 ~ 7	塗装工場で、墜落防止柵取り付け作業中に、単独でパイプ椅子を使ってスタンションを取り付けようとブロックに上がったときに、バランスを崩し地面に転落し腰の左側を負傷した。	64	1	371	100 ~ 299 人
----	------	----	-------------	--	----	---	-----	----------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。